

企業にエコノミー 地球にエコロジー

# みんなでカーボンニュートラル

～取り組み事例を紹介します～

## 省エネ診断 Vol.2

カーボンニュートラルへの第一歩は、「CO<sub>2</sub>排出量の見える化」から。  
エネルギー使用状況を診断して現状を把握しよう。



ウチの会社でもできるの？



まずは現状把握！  
省エネ診断を外部に依頼することで、  
詳細な診断結果と専門的な  
アドバイスも受けられます。

### 株式会社 平出章商店

浜松市東区中里町

診断  
結果

エネルギー削減  
ポテンシャル

年間削減金額

**-560,000円/年**

年間CO<sub>2</sub>削減量

**12.5t-CO<sub>2</sub>/年**

CO<sub>2</sub>削減割合

**16.8%**

※診断日 2022年7月20日

診断者／

一般財団法人省エネルギーセンター  
エネルギー使用合理化専門員

診断メニュー／省エネ最適化診断

診断料金／10,450円(税込)

### 省エネ改善提案

投資  
0円

1 冷凍庫の  
デフロスト間隔延長

2 エアコン設定温度の緩和による  
消費電力低減

投資  
あり

3 窓面の遮熱と断熱による  
エアコン消費電力低減

4 冷凍庫入口に  
エアカーテン設置

5 事務室の機械換気を  
全熱交換式に更新

6 2階倉庫の天井照明を  
LEDに更新

効果大  
コストのみにとらわれず  
長いスパンで考えたい

3は投資回収期間5年以下。4～6は投資回収期間5年超。

### カーボンニュートラルに向けて

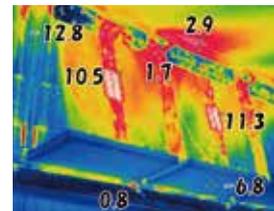
社内にSDGs委員会を置き環境に配慮した取り組みを実践中です。感覚的に気になっていたエネルギーロスを「具体的な数字」として見たくて診断を受けました。



代表取締役社長 平出慎一郎

### 省エネ診断を受けて

やはり最大の課題は冷蔵冷凍庫が設置されている空調室にありました。冷蔵庫と冷凍庫への動線が共通で人の出入りが多いため、冷凍庫内の温度・湿度が上がり、デフロスト(除霜)運転が頻繁に作動していました。電気代以上に湿度の上昇は庫内の商品(食材)のクオリティに影響する大きな問題です。対策として空調室内にパーテーションを設け、冷蔵庫と冷凍庫への動線を分けることを検討中です。診断ではサーモカメラにより色と数字で可視化され、問題点が非常に分かりやすかったです。



### 事業所 PROFILE

1949年創業。専門商社として製菓材料・パッケージなどの卸売、製菓・製パン機械販売、製菓材料専門店などの事業を展開。従業員数約40人。



診断結果と改善方法を現場担当者に即フィードバック。冷凍庫の霜付き対策としてビニールシートでのゾーニングを指示。

自分の会社の省エネ診断してみませんか？

浜松商工会議所 省エネ診断紹介事業

取材協力をお願いします。詳しくはこちら

省エネ診断紹介事業 浜松

